

高知大学 広報誌

Kochi University PR magazines

2011 Autumn **秋号**
TAKE FREE ¥0

農学部 日本一小さな演習林の挑戦

人を育てる森

嶺北フィールド(演習林) 研究室活動

地底に眠る情報を探れ!

〈海洋コア総合研究センター〉ラボ通信

のぞいてみよう 高知大の授業!!

〈教育学部〉まなびの時間

Kochi University's
Student and OB・OG

高知大学ニュース

Welcome!
国際交流のススメ
留学生 VOICE

Information

新しくなった高知大学
広報誌の愛称を大募集!
詳しくは裏表紙をチェック!
プレゼントが当たるよ!

裏表紙へGo!

農学部嶺北フィールド(演習林)での実習風景

高知大学で開催するイベントをご紹介します。

イベントインフォメーション

Event information

2011 Autumn **秋号**

11月 12日(土)

第2回高知大学ホームカミングデー

卒業生と在校生が交流を深める特別な日!

ホームカミングデーとは、大学に卒業生を招いて交流を深める日のことです。

昨年、第1回ホームカミングデーを開催し、多数のご参加をいただきました。今年も「卒業生」とのつながりをより強いものとするため、第2回ホームカミングデーを開催いたします。

当日は、各キャンパスで記念講義、卒業生と学生の交流事業の他、朝倉キャンパスでは記念式典・シンポジウム・懇親会も予定していますので、皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。(医学部関係のイベントは、11月11日(金)の17:30~19:30に実施)



時間 9:30~18:00

主催 国立大学法人高知大学
高知大学同窓会連合会

特別展示、学生によるイベント等も準備しております。

12月 3日(土) 4日(日)

第51回室戸貫歩

一般の方もご参加いただけます!

本行事は空手道部が心身の鍛錬を目的に始めたものであり、朝倉キャンパスから室戸岬までの約90kmの道のりを一昼夜かけて歩き通す行事です。現在では一般の参加者も数多く参加するようになり、高知大学の代表的な学生行事の一つとなっています。

集 高知大学 朝倉キャンパス
問 088-844-8150



大学祭開催

南風祭 10月 8日(土) 10:00~19:00
9日(日) 10:00~20:45

テーマは「Torch of Kochi」

お笑いライブ、地域のお店を呼んだ名店街、健康チェック、災害医療講演会など盛り沢山の内容です。是非お越し下さい。

所 高知大学 岡豊キャンパス
問 088-880-2528



黒潮祭 11月 4日(土) 10:00~19:00
5日(日) 10:00~20:00

テーマは「和」

第62回黒潮祭のテーマは「和(わ)」です。開催日は11月4日、5日の2日間です。朝倉キャンパスでの非日常をお楽しみ下さい。

所 高知大学 朝倉キャンパス
問 088-844-8150



11月 3日(木) 9:00~15:00

物部キャンパス1日公開

地域の特産物、農産物の販売や人気のトレーラー体験コーナーをはじめ、様々な研究を身近に感じることができます。お誘い合わせの上、是非お越し下さい。

所 高知大学 物部キャンパス
問 088-864-5114



2011年度 定期公演のお知らせ



10月 4日(火)~14日(金)

美術部

美術部展

場所 学生会館IKUS2階 集会室

時間 9:00~18:00

※日曜・祝日を除く ※最終日は午前中のみ

12月 10日(土)

SEABREEZE

SEABREEZE定期演奏会

場所 X-pt

時間 18:30~

11月 6日(日)

高知大学交響楽団

第52回定期演奏会

場所 高知市文化プラザ かるぽーと

大ホール

時間 14:00~

12月 10日(土)

奇術部 Trick or treat

第11回

マジシャンズパーティ

場所 高知RKCホール

時間 18:30~

11月 19日(土)

マンドリンクラブ

第52回高知大学マンドリンクラブ

定期演奏会

場所 県民文化ホール(オレンジ)

時間 18:30~

12月 24日(土)

邦楽部

高知大学邦楽部高知県立大学

箏曲部合同演奏会

場所 県民文化ホール(グリーン)

時間 18:00~

12月 10日(土)

高知大学演劇研究会

第40回高知大学演劇研究会

定期公演

場所 県民文化ホール(グリーン)

時間 18:00~

12月 24日(土)

高知大学合唱団

第40回高知大学合唱団

定期演奏会

場所 高知市春野文化ホール ピアステージ

時間 18:00~

お問い合わせ先 皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。



高知大学
Kochi University

高知大学広報戦略室

高知大学

検索

<http://www.kochi-u.ac.jp/JA/>

TEL.088-844-8643 FAX.088-844-8033

〒780-8520 高知市曙町2-5-1 E-mail:kh13@kochi-u.ac.jp

高知大学 広報誌愛称募集!!

高知大学では、広報誌の新しい名前を募集しています。ご応募下さった方の中から抽選でお米5kgをプレゼント!! 皆様からの素敵な名前をお待ちしています!!

農学部後援会提供

フィールドサイエンスセンターで作った

お米5kg 5名様プレゼント!!

〈応募方法〉左記のアドレスにお名前と愛称を一緒に書いてメールを送信してください。〈締切〉10月31日



〈特集〉日本一小さな演習林の挑戦

人を育てる森

高知だから見つかる発見がある
高知大だからできる研究がある
日本一小さいからできる
取り組みがある。



狭いからこそ、隅々まで整備を行い、さまざまな目的に合わせた森林整備を行うことで、充実した演習林になっています(塚本教授)。

現在は、目的別に「技術の森」「体験の森」「ものづくりの森」「観察の森」「研究の森」の5つのゾーンに分かれています。3人の技術職員が、ゾーンごとの特性に合わせて整備。その1人、長井宏賢さんは大学の森ならではの森林整備を話します。「単に木材生産を目的とした森林整備とは違い、調査・研究や実習にどう役立つかを考えながらの作業です。そこが面白い」一味違う整備を行う森だからこそ、例えば子どもたちが対象の自然体験であっても、単に自然に触れるだけでなく、学問的な興味を促すようなプレゼンテーションができる、といいます。

森大好き学生集団 林業塾

技術職員とともに活躍しているのが、学生サークル「嶺北フィールド学生サポーター」(林業塾)の

メンバーです。平成18年に発足し、教員や技術職員の支援のもと、前述のトレイルランニングレースの運営をはじめ、林業作業、炭焼き、ツリーハウス作りと、さまざまな活動をしています。



「本当に森が好き、という学生が集まります。女子学生が多く、森林整備や子どもたちの体験教室を手伝ってもらったり、フィールドで彼女たちの存在は大きいですよ。学生たちにも、いい体験になっているのではないのでしょうか」

研究の場としての活用にも期待

「研究の森」には、「樹冠」という木のでっぺんを観察するタワーを設置し、森林生態系の研究が行われています。また、ヒノキ人工林の強度間伐試験地では、木材生産と環境保全を調和させる管理法が研究されています。

「ここはもともとの薪炭林が多く、原生的な自然ではありません。しかし、人の手が入った森は日本全国にあり、その活用や活性化は大きな問題に。そういった意味では面白い演習林と言えるでしょう。最近ではシカ食害の研究ができるように整備を進めています(塚本教授)。

開かれた演習林となつてから、多くの研究者が利用するようになり、気象をはじめとする観測データも蓄積されるようになりまし。今後の研究のバックデータとして、活用が期待されています。日本一小さな演習林、嶺北フィールド。狭いからこそ取り組みの数々は、高知大ならではの特色として注目を集めています。

嶺北 フィールド

所在地／高知県香美市土佐山田町
岩見滝、赤荒
面積／127.14ha
植生／モミ・ツガ群系



開かれた森 嶺北フィールド

高知県の北部、四国山地の南側にある嶺北フィールド。この緑濃い森林に、8月のある日、農学部が実習に訪れました。足を踏ん張らなければ立ってられないような急斜面で、ヘルメットに作業着姿の学生たちは、たどたどしくも懸命に作業します。教室の中とは違う学びの時間で、学生たちは何をつかみ取るのでしょうか。

学生たちの実習の場、嶺北フィールド。農学部附属暖地フィールドサイエンス教育センターの一部として、森林環境や循環型生産に関する実習教育・研究・技術開発・技術支援を行う「森林生産環境部門」を担っています。役割はそれだけではなくありません。「平成19年度から、開かれた演習林」として、多面的に活用方法を広げてきました」と話すのは、嶺北フィールドを担



狭いからこそできる 細やかな森林整備

森林を多目的に活用できるのは、嶺北フィールドの個性。実は、嶺北フィールドは日本で一番小さな演習林なんです(塚本教授)。

面積は127haで、全国27大学が所有する演習林の中で、ダントツに狭いといえます。「しかし、これはメリットにもなります。



チビッコ集まれ！ 自然体験教室

森の中に響き渡る、元気な子どもたちの声。嶺北フィールドは、子どもたちの自然体験の場としても活用されています。

高知の小中学生はもちろん、遠くは東京からやってくる団体もあります。雑木林での鬼ごっこや秘密基地づくり、暗闇の夜の散歩など、嶺北フィールドの自然を生かしたメニューを体験することで、さまざまなことを学びます。

体験学習は、長井さんら技術職員が中心になって行います。「サポーターとして、大学生も参加します。お兄ちゃん、お姉ちゃんと遊べることも好評です。これも大学だからできることです」。

「森の中で子どもはどんどん元気になっていく」と話す長井さん。嶺北フィールドの森が、子どもたちの成長を促します。



巣箱をつくったりもするよ。

嶺北の森を駆け抜ける！ 演習林トレイル ランニングレース2011

一人の学生の発案で始まった、嶺北フィールドでのトレイルランニングレース。平成20年から今年で4回目の大会が7月30日に行われました。山の自然を生かし、森の中を走るトレイルランニングは、近年、愛好者が増えている山岳スポーツ。嶺北フィールドでは、森林管理のための林道や作業道、歩道を使い、個人用約8.5kmと団体用4kmの2コースを設定。アップダウンの激しい未舗装のルートでタイムを競います。

「レースの準備は、林業塾のメンバーが行います」と長井さん。また、会場の設営や運営も学生を中心に実施します。

「この大会を通して、多くの人に森の魅力を知ってもらい、新たな利用につなげたい。また、山村に活気をもたらす手立てになればいいと思います」と塚本教授は話します。



今年は個人・団体合わせて89人が参加

Who's talking?



暖地フィールドサイエンス
教育研究センター 教授

塚本 次郎

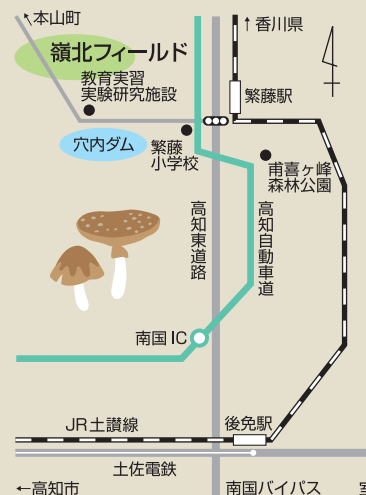
京都大学農学部卒業。博士(農学)。ヒノキ人工林の管理技術やシーボルトミミズの生態を研究。「農学部だけでなく、他学部の研究にも嶺北フィールドを活用してほしいですね」。



嶺北フィールド
技術職員

長井 宏賢

高知大学農学部卒業。木材企業に勤務し、東南アジアに赴任。帰国後、高知大学農学部技術職員として、嶺北フィールドの整備・管理に携わる。



- ・JR 繁藤駅から車で約30分
- ・高知自動車道、南国ICから車で約45分
- ・高知龍馬空港から車で約1時間



高知大学
農学部

※嶺北フィールドをご利用になりたい方は Tel.088-864-5199 までご連絡ください。

自然と人の営みから見る 熱帯の森、高知の森、 そして嶺北フィールド



共にマレーシア・ボルネオ島の熱帯雨林を研究している、農学部の市川昌広教授と市栄智明准教授。
実は、市栄先生は嶺北フィールドでも調査を行い、市川先生は嶺北フィールドにほど近い中山間地の大豊町で研究を進めています。そこで、嶺北フィールドや熱帯雨林、中山間地について話を聞きました。

寸断された自然林は 元気なのか？

農学部国際支援学コースの市栄智明准教授は、樹木の生理や生態が専門分野。日本の森林や嶺北フィールド、熱帯雨林で調査研究を行っています。葉が生い茂る木々のつべんの「林冠」で、植物や昆虫がどのように連鎖しているかなどを調べているとのこと。熱帯雨林の研究フィールドは、マレーシア・ボルネオ島のランピル国立公園。「日本の森



ランピル国立公園内の林冠を調査するクレーンシステム

に比べ、熱帯雨林は圧倒的に多種多様な生物が生息しています。樹木についても、日本よりはるかにたくさん種類の木が生存しています」と市栄先生。
一方、高知県を振り返ると、84%が森林とはいえ、そのほとんどが人工林。嶺北フィールドも同様で、自然環境には大きな差があります。それでも、双方は同じような問題を抱えていると市栄先生は指摘します。「それは森林の断片化の問題です。人工林の多い高知の環境では、



過疎・高齢化が進んだ高知県の山村

大学に来るまでは、ボルネオの奥地サラワクの原住民の森林利用や土地利用、山村での暮らしを研究してきました。「奥地とはいえ、隔絶されているわけではありません。商業伐採が進み、伐採した後は、油がとれるオイルパームのプランテーションに姿を変えています。自然環境の変化とともに、人々の暮らし方も変わってきました。だんだん都市が発達し、都会に人口が流出するようになり、山村では過疎化が始まっています」と市川教授。その姿は、かつての日本のようだと言います。

高知大では、主に大豊町で、山村の暮らしの研究を始まりました。人口約5000人、高齢化率50%超の中山間地です。「怒田」という集落で、過疎高齢化の問題に取り組んでいます。農学部として中山間地の問題解決に向けたプロジェクトを立ち上げ、私はまとめ役をやっています」

（市川教授。新たな商品作物を開発するためにブルーベリーを栽培したり、あるいは焼畑農法を復活させたり、薬草を栽培したり…。地域活性化に向けて、さまざまな方法を模

索しています。「サラワクと大豊は、山村で過疎・高齢化が進んでいるなど似ている点が多い。しかし、ボルネオはオイルパームなど商品作物があるために、山村の活力が失われている。では日本では、そして大豊ではどうすればいいのかを考えなければいけません」（市川教授）。そして何より大切なのは、地元の人々のやる気だと言います。「震災以降、農村で暮らすことの価値が



〈農学部〉
国際支援学コース 教授
市川 昌広

千葉大学園芸学部環境緑地科卒業。京都大学博士（人間・環境学）。農山村の人々の暮らし・森林との関係およびその変化などを研究。青年海外協力隊に参加し、ドミニカ共和国で活動した経験を持つ。



Folklore



村人総出で魚を追いつたところ

Malaysia



〈農学部〉
国際支援学コース 准教授
市栄 智明

愛媛大学農学部生物資源学科卒業。京都大学博士（理学）。東南アジア樹木の開花・結実のメカニズムなどを研究。「林冠の調査では、地上50mの木の上に朝から晩までいることがあります」。

広葉樹林や里山はとても貴重な存在になってしまいました。またボルネオでも伐採が進み、ランピル国立公園のように、公園として守られた範囲だけが、熱帯雨林として保護されています。しかし、周りが伐採されたり、人工林にかまれてしまった自然林というのは、はたして健全なのか」（市栄准教授）。

「一見、緑豊かに見える森の裏で進む自然の後退。寸断されることで、生態系の連鎖が変わり、様々な生物の生存に影響が出ているのではないかと」と市栄先生は考えています。まったく自然環境の違う日本とボルネオで、同様の問題が生まれているわけです。「それが健全なのかどうか、うまく保護できているのかどうか、注意深くこれからも研究を進めたいと思います」（市栄准教授）。

ボルネオの山村でも 過疎化が始まっている！

市川昌広教授も同じく農学部国際支援学コース。2年前に高知



伐採された熱帯の樹木



樹木のバイオマスを調べるための伐倒調査の様子



多種多様な生物が生息する熱帯雨林の研究フィールド

農学研究に恵まれた 高知大学の環境

市栄先生は、熱帯雨林はまだまだ無限の可能性を秘めていると言います。「地球上で名前の付いている生物は176万種、名前もないものを含めると3000万種以上生息し、その半数は熱帯に棲んでいると言われています。発見されていない生物中には、例えばがんの特効薬になるような成分を含んだ人間にとって有益なものも存在するかもしれない。しかし今、熱帯雨林の減少とともに熱帯の生物は猛烈なスピードで絶滅しています。私たちの生活が関係していることを忘れてはならない。未来のために、今の私たちが考えなければいけない問題です」（市栄准教授）。

東南アジアと日本を行き来しながらも、嶺北フィールドでの調査を続けている市栄先生。林冠を観察するためのタワーに登り、植物や虫の調査を行なっています。「1種類の生物には100種類の生物が連鎖している、と言われる。それが途切れると何らかの異変が起きる。現在日本の森林で問題になっているシカの増加と食害も、その連鎖が崩れたために起こっています。その生物同士の関係性の調査を嶺北フィールドでも行っています」そして、自然環境の全く違う熱帯雨林との比較研究も進めたいと意欲的です。森林の環境や植物が変わると、生物の多様性がどのように変わるのか：研究対象は広範囲にわたります。

「嶺北フィールドは物部キャンパスから車で1時間。大学から簡単に出かけられる距離にあります。高知大は、海も山も川もすぐそばで、農学を研究する人にとってはとても恵まれたフィールドですね」（市栄准教授）。



地底に眠る情報を探れ！

「海底」

ラボ通信

海洋コア総合研究センター 池原ラボ

教員 池原実 × 学生 松本翔吾さん

松本翔吾 掘削コアの研究について教えてください。

池原実 掘削とは海底面も含めて地面をボーリングすることで、抜き取った柱状の岩石や地層などを「コア」といいます。私たちは主に海の研究をしています。船に乗って現地に行き、海底をボーリングしてコアを採取。化学分析や化石の種類などを調査して、地球の環境変動や地殻変動の歴史にアプローチしています。海洋コア総合研究センターは、

平成15年に建てられました。それ以前から高知大には、過去に起こった地震の研究や、海の堆積物を使って気候変動を調査する研究者が多く、大学の特徴のひとつと位置付けられてきました。

松本 どのような研究の成果がありますか？

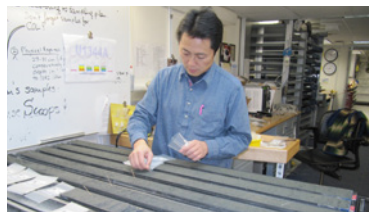
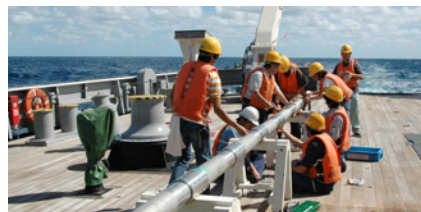
池原 黒潮をテーマにした研究で、2万年前ぐらいの氷河時代にはどこを流れていたのか、どれくらい温度が下がっていたのかを調べまし

黒潮は氷河時代も高知沖を流れていたんですよ。

南極海での大掛かりな調査を考えています！



掘削コア科学で地球の歴史をひもとく



海底の堆積物に、昔の地球環境の情報があふれていますね。



海洋「コア」には、ロマンがあふれています。

た。黒潮は今、高知県の沿岸近くを流れていますが、氷河時代はもっと南方を東に向かって流れていた、と主張する研究者が多かったのです。しかしこの研究で、今と同じ場所を流れ、水温は4度ぐらい低いことがわかりました。

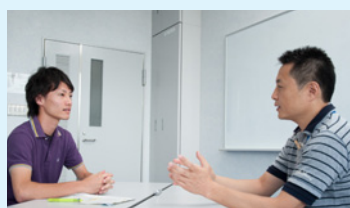
松本 今後の研究について教えてください。

池原 南極海で大掛かりな調査をしたいと考えています。深海掘削すること、かつての南極の環境や氷

床の変化、そして地球全体の気候変動がどのような関係にあるかを調べたい。各国の研究者にも呼び掛けてインターナショナルな研究チームをつくらうと、事前調査をしているところです。

インタビューを終えて 松本翔吾

海底の堆積物で太古の地球環境がわかることは知りませんでした。海底の地下に歴史が記録されているなんて、ロマンを駆り立てられますね。



PROFILE

海洋コア総合研究センター
教育研究部 自然科学系 理学部門 准教授
池原 実 (写真右)

長野県出身。金沢大学理学部地学科(現・地球学科)卒業。東京大学大学院理学系研究科地質学専攻修了。平成13年より高知大学海洋コア研究センターに。平成21年より現職。「海がない県で生まれたから、海へのあこがれが今の研究につながったのかもしれない」

理学部理学科3年

松本翔吾さん(写真左)

熊本県出身。高校時代から高山植物に興味があり、生物科学コースを選択。まちづくりに対して関心が高く、高知市内を走る路面電車を活用した地域活性化の活動団体「LOVEるMEN」の代表を務める。

PICK UP LECTURE
まなびの時間
高知大学の講義・研究

教師を育てる

教育学部
学校教育教員養成課程



1.朝倉キャンパスでの模擬授業 2.地域の子供たちとふれあうフレンドシップ事業 3.小学生の安全をサポートする「子ども守り隊守るんジャー」



教職を目指す学生をサポート

夏休みの朝倉キャンパス。とある教室には、まるで目の前に小学生が並んでいるかのように、ひとり授業を行う教育学部の学生がいます。これは教員採用試験で行われる模擬授業の対策。実は教員の「学生たちを教師にしたい」という思いから行われている、ボランティアの指導なのです。

多くの学生が小・中学校の先生など、教育の世界での活躍を目指す教育学部。その夢の実現に向けて、さまざまな取り組みが行われています。

「特に力を入れているのが実習系授業です。学校教育教員養成課程では、1年生から各学年で実習を必修科目に取り入れています」と教育学部長の遠藤隆俊教授。通常の教育実習に加えて、例えば1年生の時には地域の子どもたちと実際にふれあうことによって実践的指導力を養う「フレンドシップ事業」が必修科目になっています。さらに、学生たちの間では、子どもたちに関わる自発的な活動も盛ん。下校時の小学生の安全をサポートする「高知子ども守り隊守るんジャー」などの地域活動に取り組んでいます。

体験を通して
育まれる人間性

教授に聞きました！

PROFILE

教育学部長 教授 遠藤 隆俊

福島県出身。東北大学文学部卒業。文学修士。東洋史学が専門。高知県の漢籍調査を行い、漢学の視点から見た近世から近代にかけての土佐の思想や文化も研究している。



「教師の資質で大切なのは人間性。しかし、こればかりは教室で教えるわけにはいきません。だからこそ、学生たちにはさまざまな体験をしてほしい。こうした考えから、総合大学の教育学部としては珍しく、学部独自の国際教育ネットワークを持ち、東アジアやヨーロッパなど世界各地に学生たちを短期留学に送り出しています。

「子どもを教えるのはとても難しい仕事。しかも、近年の教育現場は非常に厳しい環境にあります。そんな中でも折れない強い心を持ち、子どもたちと一緒に成長できる未来の教師を送り出したい。これが教育学部の使命です」と遠藤教授は意気込みます。

OB・OG Talk

心強い、同窓の仲間たちの存在。

活躍する先輩たちの声



Message from OB・OG
高知大卒業生からのメッセージ

学生時代はわからなかった…。卒業したからこそ見えてくる母校の良さがある。

医学部(旧・高知医科大学)医学科
平成元年卒業(第6期)
廣瀬 大祐さん

高知県土佐市出身。ひろせ整形外科リハビリテーションクリニック院長。医学部同窓会会長を務める。「現役学生の声を吸い上げて、同窓会としてもっと応援していきたいですね」。



ひろせ整形外科
リハビリテーションクリニック
〒781-1105 高知県土佐市蓮池1004-1
TEL.088-828-5052 FAX.088-828-5053

高知大で学んでよかった点は？
卒業後は大学に残り、今は高知で開業しましたから、同窓の仲間が近くにたくさんいます。何かあった時に相談しやすく心強いですね。また、平成14年までは大学の派遣医として高知県内外の病

現在は土佐市で開業医として活躍されていますね。
平成15年に、地元で「ひろせ整形外科リハビリテーションクリニック」を開業しま

患者さんはもちろん、人や住んでいる場所、学校のいいところを見つけるようにしてください。そしてそれを言葉にして伝えることが大切。人の見方や暮らし方、学び方が変わりますよ。

どんな大学生活を送りましたか？
私が在学していたのは、前身の高知医科大学のときです。しかも開学して間もなかったため、校風も確立されていないような時代でした。医学部というのは時々、必死に勉強しなければならぬ時があつて、気の合う同級生で勉強会グループをつくってがむしゃらに勉強しました。ラグビー部に所属しており、その頃は「打倒！高知大」が目標でしたよ(笑)。

現在、地方で勤務していました。地方だからこそのさまざまな経験が、いい勉強になりました。

後輩にひと言。
患者さんはもちろん、人や住んでいる場所、学校のいいところを見つけるようにしてください。そしてそれを言葉にして伝えることが大切。人の見方や暮らし方、学び方が変わりますよ。

今の高知大をどう思いますか？
医学部、朝倉、物部のそれぞれのキャンパスで、独自の文化が育まれているように感じます。一層魅力的でおもしろい大学になっていくのではないのでしょうか。



キラ★星 高知大生

学内外でキラッと光る高知大生をピックアップ!



報道では伝わらない現実がある
5月の連休を利用して、宮城県気仙沼市と岩手県陸前高田市に行ってきました。被災地では酒屋で重油と泥にまみれた酒ビンや1本1本みがいなり、町でがれきを撤去したり…。さまざまな年齢、職業のボランティアの人たちと出会

ったことも、心に残る経験です。大学で受けた「ファシリテーション※」の講義が、コミュニケーションに役立ちました。被災地で感じたことは、現場に行かなければわからないことがある、ということ。動ける人は、ぜひ行くべきです。この思いを伝えようと、人文学部主催の震災ボランティアの講習会で講演もしました。今回の経験を生かして、



※「ファシリテーション」グループワークを円滑に進めるための支援や技術の能力

いまは高知でボランティアセンターを立ち上げようと活動しています。



体験をもとに講習も
震災ボランティアとして東日本大震災の被災地へ

理学部 理学科3年
白樫 和久さん

和歌山県出身。高校教師を目指している。「教師になったら、ぜひ生徒たちに震災ボランティアとして経験したことを伝えたい」と話す。



採ったシーボルトミミズ、220匹!
3年生の時に沖ノ島でシーボルトミミズを見たのが、研究のきっかけ。この島は他と比べて大きくて太い。変な生き物好きなので笑、一見見て、これは面白い。今回の研究では、シーボルトミミズが九州から四国にどのルートで渡ったか調べるため、約2年かけて四国の西部、四国寄りの7カ所の離島、九州まで回ってサンプルを採取。

220匹のDNAを調べ、豊後水道周辺の侵入経路を明らかにしました。サンプル数が多かったことと、内容が突飛だったことが受賞につながったのだと思います。研究室の教授が、学生の意思を尊重してくれる、やりたいうことは何でもやっていいよ、という方だったので、DNAのことや系統学的なことなどを教えていただきながら、自由に研究させてもらいました。



採取地のひとつ、戸島のシーボルトミミズ



シーボルトミミズの侵入経路明らかに
**日本土壌動物学会大会
最優秀ポスター賞受賞!**

最優秀賞をいただきました。

大学院農学専攻 修士1年
大賀 教平さん

徳島県出身。シーボルトミミズの研究は、ひと段落。今年は「リンドウとツリガネニンジン」の溪流沿い適応について研究する予定。



高知県の「エコチル調査」
『参加者ついに1000人達成!』
～エコチルベビーも続々誕生!～

EVENT

12/4 (日) 朝倉キャンパス
「青少年のための科学の祭典」

10/23 (日) イオンモール高知
子育て支援フォーラム

■エコチル調査コールセンター/0120-535-252 (9時～21時)
■環境省のエコチルHP / www.env.go.jp/chemi/ceh/index.html
■高知ユニットセンターHP / <http://kochi-ecochil.jp>
Tel.088-880-2173 (土・日・祝日のぞく9時～17時)

エコチルのお知らせ!

子どもの健康と環境に関する全国調査

こうちエコチル調査

ついに商品化! スタッキングカート販売へ

現場の声を生かして商品化へ

手狭なナースステーション、窮屈なワーキングスペースを解消するスタッキングカート(積重ね式台車)が本学と(社)高知医療再生機構及び泉(株)と共同開発されました。押し込むだけという簡単なスタッキングでより多くの収納を可能にし、実用的で使用者にも受け入れられやすくなっています。本製品は、7月13日～15日に開催された国際モダンホスピタルショー2011にも展示され、多くの注目を得ました。現場の声を生かし、ナースと企業が共に生み出した本商品に、今後の期待が持たれます。

スタッキング収納で省スペースを実現!

平成24年度入試案内

・推薦入試I
出願期間 平成23年 11/1(火)～4(金)

・推薦入試II
出願期間 平成23年 11/1(火)～4(金) 医
平成24年 1/17(火)～19(木) 教・農

・一般入試(前期日程・後期日程)
出願期間 平成24年 1/23(月)～2/1(水)

■大学案内・選抜要項等の資料をパソコン・携帯電話からテレメール請求できます。
インターネット(携帯電話・パソコン)の場合
<http://telemail.jp>

携帯電話・パソコンとも共有アドレスです。
(iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ)

国外初!同窓会事務所を中国に開設

海外との連携強化の架け橋へ!

平成23年7月4日、岩崎副学長、遠藤教育学部長が高知大学帰国留学生ネットワーク(中国)上海地域同窓会会長の鍾俊生上海海洋大学教授を訪問し、同窓会事務所を開設しました。本学の同窓会事務所が国外に開設されるのは今回が初めてであり、本学と海外との一層の連携強化を目指します。同教授の研究室前への事務所の看板設置と同窓会名簿の整備をお願いし、今後は国際連携部門と同窓会役員が連携をとりながら活発な同窓会活動を展開していく予定です。

高知大学基金についてのお願い

平成21年からの検討課題でありました「高知大学基金(仮称)」の設置準備に、本年4月からスタッフ2名が配置され業務を行っています。この基金は本学の理念である「地域社会及び国際社会に貢献しうる人材育成と学問研究の充実と発展を推進」するため、事業の支援と環境のさらなる整備・充実を目的としていますが、皆様方の賛同なくしては基金の事業・継続が不可能です。正式に設立されましたら改めてご案内申し上げますので、絶大なるご支援をよろしくお願い致します。

地域社会及び国際社会への貢献のために

高知大学ニュース

留学生の高知大ライフ

経営者になることが夢。経済学部授業を生かしたい!

人文学部 社会経済学科 1年生
VO NGOC THANH THUYさん (ベトナム)
ウォー ゴック タン ツイ

高知で勉強できるのは背中を押してくれた父のおかげ

私の家は決して裕福ではありません。それでも、日本に留学をしたいと両親に相談した時、父は「お前のためになるならば、ぜひ行って勉強してきなさい」と送り出してくれました。父が昔、コーヒー園を持っていたこともあって、将来の夢はコーヒーメーカーの経営者になることです。ベトナムのコーヒーは、日本と違って甘みがあります。とてもおいしいので、日本でもきっと売れると思います。経営者になれるように、人文学部で経済学を学んでいます。すごく面白い講義もあるけど、むずかしいものも。日本語もまだまだ勉強しなくちゃいけないので大変です。でも、高知大での4年間の勉強が、きっと自分の将来に役立つと思っています。いまは、ベトナムにはない「コンビニ」の経営システムにも興味がありますね。学費を稼ぐためのアルバイトに忙しい毎日で、大好きなバドミントンをする時間ありません。高知での生活にはだいぶ慣れました。カツオのたたき、大好きですよ。

カン Cam on (ありがとう)

かわいいメモ帳がお気に入り

PROFILE
ベトナム・ダナン市から平成22年来日。静岡の日本語学校で1年間、日本語を学んだ後、この春、高知大学に入学。「卒業してベトナムに帰ったら、目が見えない子どもたちのためのボランティアをやりたいと思っています」。

VO NGOC THANH THUY

留学生に聞く高知大学での学園生活と地域活動。

何が起きるかわからない! 謎だらけだから研究は楽しい

大学院総合人間自然科学研究科医学専攻 博士課程2年
FABRICIO MIGUEL LOCATELLI さん (アルゼンチン)
ファブリシオ ミゲル ロカテリ

恵まれた環境で研究に励む毎日です

リーシュマニアという、人間に感染症を引き起こす寄生虫の遺伝子研究を行っています。もともとアルゼンチンの先輩がこの研究を高知大でやっていたので、国費留学生として研究を引き継ぎました。同じ遺伝子研究でも、例えば使う試薬が違うなど、日本とアルゼンチンとは方法が異なっていることも多く、とても勉強になります。また、高知大学は研究施設に恵まれているので、クオリティーの高い研究ができるのがうれしいです。

今はDNAの解析をしたり、論文を読み込む毎日。研究は何が起るか、どんな結果が出るのかわからないし、時には一からやり直しになることも…。大変なこともあります。遺伝子の配列の違いを研究して自然の謎を解いていくのは、とても興味深くおもしろいですよ。

日本語は難しいので留学前は不安でしたが、教員の中にスペイン語を話せる方もいるし、普段は英語と日本語を取り混ぜて、コミュニケーションを図っています。

オラ HOLA (こんにちは)

留学のきっかけとなったアルゼンチンの先輩と一緒に。

PROFILE
アルゼンチン・サルタ出身。国立サルタ大学大学院 自然科学学部 生物科学科卒業(修士取得)。平成22年4月、高知大学博士課程入学。「アルゼンチンの地元まで飛行機で35時間(笑)。なかなか遠くて帰れませんね」。

Fabricio Miguel Locatelli